

# 令和5年度 第2回さいたま市民大学運営委員会 議事録

## 1 開催日時

令和5年10月31日（火） 午後2時から午後3時35分まで

## 2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

## 3 出席者

〈委員：12名〉

- ① 神保 富美子 委員長
- ② 山中 冴子 副委員長
- ③ 青木 光美 委員
- ④ 浅野 永子 委員
- ⑤ 井上 直也 委員
- ⑥ 加藤 恒 委員
- ⑦ 桑原 静 委員
- ⑧ 関根 公一 委員
- ⑨ 関根 広美 委員
- ⑩ 中川 敬三 委員
- ⑪ 羽諸 英臣 委員
- ⑫ 平田 利雄 委員

〈事務局：12名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 岸 聖一
- ② 参事兼副館長 中村 和哉
- ③ 主幹兼事業・企画係長 野口 みずほ
- ④ 事業・企画係主査 三井 響子
- ⑤ 事業・企画係主査 曾根 啓佑
- ⑥ 事業・企画係主事 小暮 裕貴
- ⑦ 社会教育指導員 渡邊 京子
- ⑧ 社会教育指導員 永井 紀美子
- ⑨ 青少年宇宙科学館 和久井 剛士
- ⑩ うらわ美術館 前田 伽南
- ⑪ 大宮西部図書館 小峰 智仁
- ⑫ 博物館 矢野 慧太

#### 4 報告事項

(1) 前回の議事録について

#### 5 協議事項

(1) 令和6年度さいたま市民大学各コース（案）について

①教養コース～メディカルコース

②科学コース～歴史コース

③地域ボランティア養成コース～パソコンコース

#### 6 公開・非公開の別

公開

#### 7 傍聴者の数

0名

#### 8 開会

委員交代のため、冒頭、新任委員に委嘱状の交付を行った。

#### 9 報告内容

(1) 前回の議事録について、事務局から報告した。

#### 10 協議内容

(1) 令和6年度さいたま市民大学各コース（案）について

事務局より、教養Ⅰ・Ⅱ、ファイナンシャル、さいたまの魅力、ビジネススキル、市民企画、メディカルの各コースについて説明をした。

以下、質疑等の内容

##### 【教養Ⅰコース】

神保委員長	気象予報士の方は決まっているのか。
事務局	検討中である。

##### 【教養Ⅱコース】

青木委員	求められるITリテラシーの内容は年代によって異なると思うが、メインターゲット層はどのような年代を想定しているか。
事務局	シニア層を想定している。

青木委員	正しい情報の選び方や見極め方は、シニア層の生活に直結する課題である。良かれと思ってリツイートすることによるリスクなども取り上げ、正しい知識をどう広げていくかが、このコロナ禍でも話題になったところである。ターゲット層の方が、肌で感じられるようなトラブル等をうまく取り上げれば、より満足度の高いものになると思う。
桑原委員	シニアユニバーシティでも類似の講座を行ったが、講座後に余計に怖くなり、インターネットが使えなくなったという意見も多くあった。怖い反面、利便性があるという点をどう面白く伝えるかが重要である。また、座学だけだと飽きてしまう。一緒にスマホなどで設定をしたいという話も出てくるので、Wi-Fiを利用してパソコンやスマートフォンなどを使いながらできると良い。
事務局	定員90人としているが、それだけの人数で利用できるWi-Fi設備がない。個人の端末に依存しない講座にできればと思う。

#### 【ファイナンシャルコース】

神保委員長	市民企画コースとファイナンシャルコースの棲み分けをして、両コースをうまく活かせる形にしたい。 市民企画コース受講生が、その後にファイナンシャルコースを受講できるといった連続性を持たせる考慮がなされるのか。
事務局	内容については、両コースが棲み分けできるよう講義内容を講師と交渉していく。また、市民企画コース受講生には、ファイナンシャルコースの周知を行う。 受講については、ファイナンシャルコースの定員が90人であることから、両コース続けて受講希望者の抽選漏れは起こりにくい想定している。受講したい人の希望をできるだけ叶えられるよう対応を今後検討していく。
平田委員	「出口戦略」という言葉はあまり聞いたことがなく興味が沸くので、演題に入れたほうが良い。演題を工夫すると、興味を持ちやすい。
中川委員	ファイナンシャルコースにおける「投資」は何を指すのか。内容が株やNISA・投資信託では市民企画コースと重複する。2つのコースの違いを出すために、世の中にはどのような投資があるのかなど、投資の分野をもっと広げてはどうか。不動産や商品など様々な投資があり、それぞれにどのようなリスクがあるのかといった内容を取り上げてはどうか。

山中副委員長	市民企画コースでは投資を推進する方向性となりそうなので、ファイナンシャルコースでは別の方向性にして、両コースの違いを出していくことを検討してはどうか。2つのコースを連続で受講して学びを深めるのも良いが、市民企画コースと同じ方向を向いている必要はないのではないかと。
--------	--

【さいたまの魅力コース】

浅野委員	前年度の受講者は受講できないのか。その場合、募集の段階で対象から除くことを明記する必要がある。
事務局	現在もパソコンコースなど、倍率が高い講座に関しては同様の制限をしている場合がある。さいたまの魅力コースでも、応募に制限をかける場合は応募条件を明記する。
神保委員長	さいたまの魅力コースは非常に人気が高いが、保護者も含めて定員は30人までなのか。
事務局	定員については、相手方施設の受け入れ可能人数によるところが大きい。コロナ禍以降、見学可能人数を縮小したままとなっている場合も多いため、実施までに参加可能人数を調整していく。
桑原委員	鉄道博物館と総合車両センターを別講座に分けて実施してもいいのではないかと。令和4年度も連続した夏休みこども講座では、応募が少なかった。連続したこども講座は、家族のスケジュールが調整しにくく参加が難しい。1回講座を2回実施するなど定員を増やした方がよいのではないかと。
青木委員	保護者同伴を想定すると、小学生の兄弟姉妹に乳幼児等がいた場合、急に連れてきてしまうこともあるかと思うが、そうした周知はどう行うのか。
事務局	施設側の入場・入館料等の条件や対象は、あくまで小学生である、という点を勘案し周知方法を検討する。
平田委員	小学生でも高学年であれば保護者の同伴は不要なのではないかと。鉄道博物館は、小学生や中学生が観覧して楽しめるようにできている。保護者同伴にしなければ、受講できる子供の人数を増やせるのではないかと。
事務局	令和5年度は、中学生の応募はほとんどなかったため、令和6年度は対象を小学生とした。保護者同伴にできなかった場合、安全確保を十分に行える職員数はなく、体制が不十分になる恐れがある。施設側の条件については丁寧に確認する。

### 【ビジネススキルコース】

加藤委員	ビジネススキルの向上を図りたい市民が対象のコースなのに平日午前中の開催だと、ターゲット層である働く世代が受講できないのではないか。ハイフレックス型を検討しているのであれば、リアルタイム配信だけでなく、アーカイブでも観られる形式にしないと、ターゲット層に届きづらい。市民企画コースにも共通するが、資産形成であったり、ビジネススキルの向上であったり、30代～50代の働く世代が参加しやすい曜日や時間帯設定を検討してほしい。
事務局	オンデマンド配信やオンラインも含めて実施方法を検討する。

### 【市民企画コース】

関根公一委員	金融に関する類似の講座は金融機関でよく開催されている。それとの差別化を図る意味で、対面で行うことと個別ワーキングが設けられているのはプラスアルファとして良い。市民大学として考える部分をしっかり入れ、内容が濃くなると良い。
--------	--

### 【メディカルコース】

浅野委員	ターゲット層はどの年代か。
事務局	シニア層を想定している。

青少年宇宙科学館、うらわ美術館、大宮西部図書館、博物館より、科学、美術Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、歴史の各コースについて説明をした。

### 【科学コース】

中川委員	科学館や美術館は各館独自の講座も実施していると思うが、それらの講座と市民大学との違いはあるのか。
青少年宇宙科学館	科学館独自の講座としては、若田光一 JAXA 宇宙飛行士応援プロジェクトの一環として、「宇宙のまち さいたま」に関わる科学館独自の取組の中、子どもたちの宇宙への興味・関心を高めることを中心に講座を行っている。市民大学のロボットプログラミング講座は、玉水先生に講座を行っていただくことで特色を出している。

中川委員	市民大学と連携した講座を科学館でも実施していることを、施設側でも広報した方がいいのではないか。市民大学で子ども向け講座を行っていることがわからず、今までは申込むことができなかった。各施設側サイトから検索しても市民大学との連携講座に辿り着けるようにすると、多くの方に知ってもらえるのではないか。
青少年 宇宙科学館	広報の方法について検討する。

### 【美術Ⅰコース】

平田委員	「美術館のウラ★オモテ」というタイトルが分かりづらいので、書き方を検討して欲しい。
加藤委員	2回目の講座時は、リニューアルオープンして、展覧会はもう開催中ということによいか。 展覧会を観た後に裏話が聞けるということか。
うらわ美術館	2回目の講座時は展覧会が開催中である。 展覧会から講座、講座から展覧会、どちらの順番でも楽しめると思う。
羽諸委員	空調工事により美術館が閉館中とのことだが、工事中に施設に入れるのか。 危険性はないのか。
うらわ美術館	工事が終わった後の試運転等の時期なので、危険はなく出入り可能である。 1回目の講座については、何も展示されていない状態の展示室で開催予定である。

### 【美術Ⅱコース】

中川委員	アーティストの話を展開会開催中に聞く企画は、美術館でもよく見かけるが、沖潤子展に関して、美術館独自のものと市民大学との違いはなにか。 また、美術館での広報はするか。
うらわ美術館	今回の市民大学ではオンライン開催を想定しており、美術館独自の講座と差別化している。 広報については、美術館でも行う。

【文学Ⅰ・Ⅱコース】

神保委員長	それぞれ、開催日時が6月・7月の14時から16時とあるが、開催は平日の予定か。これまでの実績から、文学は人気のある講座だが、基本的に平日午後という日時設定なのか。
大宮西部 図書館	開催時期は講師と相談した上でのものである。 曜日設定については、今年度、試験的に文学Ⅰコースを日曜日に開催したが、受講者層はほぼ変わらなかったことや、定員を増やしたことによる職員の人数も考慮し、来年度は平日開催予定である。
平田委員	文学Ⅰコースの演題に、「古代から近世への流れ」と入れた方が、よりわかりやすいのではないか。 文学Ⅱコースの文房具と印刷には版画等も含むのか。また、どの時期についての話か書いてほしい。
大宮西部 図書館	文学Ⅰコースの演題については分かりやすい表現を心掛ける。 文学Ⅱコースの講義内容の詳細については講師と調整中であるが、募集案内等には明記したいと思う。

【歴史コース】

平田委員	内容欄の「江戸幕府による市域の支配体制」の中で、村同士が仲良くなならないような仕組みについても講義があると思うが、旧大宮や日進周辺の話も盛り込まれたら分かりやすいのではないか。
関根公一委員	企画内容が面白そうなので、定員が少ないのは残念である。 定員を増やすためにオンライン等の取組はできないか。
博物館	定員は、博物館の会場で行える上限で設定している。オンライン実施については、Wi-Fi等の通信環境がないため難しいが、できるだけ多くの方に受講いただけるよう検討したい。歴史資料をその場で出せるかどうかは先生方が何を取り扱うかに依るので、一概に言えない。
加藤委員	今年度は「中世編」、来年度が「近世編(その1)」と毎年順を追って学びが深まっていくのは良い。連続して受講されている方はどれくらいいるのか。 翌年にも続く連続講座だということが分かる形で広報すると良い。
事務局	連続して受講している方は一定数いるが、正確な人数の集計はしていない。

事務局より、地域ボランティア養成、プログラミング、パソコンの各コースについて説明をした。

【地域ボランティア養成コース】

羽諸委員	コースを修了した方が市民大学パソコンコースの講師になるなど、ボランティア養成コースとパソコンコースとのつながりがあると良い。その点を考えると、各パソコンコースより前の時期にボランティア養成コースを実施し、指導者として次のステップに進むにあたり、後半のパソコンコースで補助的な形で参加してもらうのはどうか。
事務局	例年、受講者には市内で活動しているパソコンボランティア団体の情報を提供している。受講後にボランティア団体へ加入した方が、早ければ次年度からサポート講師としてデビューするケースもある。そういう場はつなげていきたい。
桑原委員	ボランティア養成に関しては、スマホ講師のニーズもあるのではないかと。特に60歳以上の方で、パソコンよりスマホを学びたいという人が、去年ぐらいから逆転して多くなっている。しかし、機種も様々で教えるのが難しく講師が非常に少ない。この先、このコースの中にスマホの要素も組み込むなど検討していくと、市民も喜ぶのではないかと。
事務局	現状、スマホは機種やバージョン、アプリが多岐にわたるため、講師を養成するのが難しい。市民大学ではないが、現在、各公民館で企業と連携してスマホ講座を実施しており、そうした講座を増やしているところである。パソコン講師のニーズも高いので、引き続き養成していく。
井上委員	ボランティアにもいろいろな種類があるが、市民大学ではパソコン講師の養成に限定しているのか。他にも検討の余地があるのか。
事務局	市として養成できる内容と市民ニーズとを勘案してコース内容を検討している。

【パソコンコース】

関根公一委員	応用コースで、39歳以下を優先する理由はなにか。
事務局	市の総合振興計画の中で、39歳以下の若い世代の参加を増やすという目標を掲げているため。あくまで優先であり、40歳以上の方も多く受講している。



中川委員	<p>パソコンコースは、他の公民館やシルバー人材センターでもやっているような内容になっている。このコースだけは市民大学の趣旨とは違う特別なコースなのか。市民大学のパソコンコースと他のコースでレベルを合わせた方が良いのではないか。例外的な特別コースであるなら、その位置付けを持った方が良い。</p> <p>プログラミングコースは、スクラッチを使ってプログラミングをするので、Soft : Microsoft Office 2016 は表記が違うのではないか。</p>
事務局	<p>パソコンコースについて、市民ニーズの高さや、NPO と協働で実施していること、先ほどのボランティア養成コースのように学習成果を発揮する側面もあるなどの付加価値があり、多様な学習意欲に応える内容ではあると考えている。</p> <p>プログラミングコースのソフトの表記については、確認する。</p>

## 11 その他

令和5年度第3回運営委員会について、事務局から案内した。

## 12 閉会